

# 地域創生人材育成事業 平成29年度採択概要

## 【茨城県】 いばらきの未来共創人材育成プロジェクト

### 人手不足の状況と要因

- 少子高齢化、若年者の県外流出により、毎年1万人以上の人口減少が続いている。
- 特に、本県の基幹産業である「製造業の技能者（金属加工や機械加工等）」、インフラ整備に不可欠な「建設業の技能者」、保育や介護など「福祉人材」の人手不足が深刻になっている。
- これらの職業に対する一般的なイメージは芳しくなく若者の入職者は減少。
- 中小企業等では、人材育成のノウハウが不足しており、入職後に体系的・継続的に技術等を学ぶ機会も少ない。若年者の早期離職率も高い。技能者の高齢化により、技能の継承が危惧されている。

### 本事業による対応

- 製造業分野では、「モデル事業所における若年技能者育成のための実践的訓練」及び「雇用する事業所側への人材育成力の強化支援」を一体的に実施。
  - 建設業分野では、新人向け訓練プログラム（職種別）の開発及び実践的訓練の実施。
  - 福祉分野では、有資格者の復職支援及び子育て支援員や障害者介護人材育成のための実践的な訓練の実施。
- ・雇用創出者数等：301人（31年度までの累計）
  - ・対象分野：製造業、建設業、福祉人材

### これまでの公的職業訓練との相違

- 公的職業訓練では実施していない新しい取組として
  - ・製造業分野では、「若年技能者育成のための実践的訓練」と「雇用する事業所側への人材育成力の強化支援」とを一体的に実施して、入職・定着を図る。
  - ・建設業分野では、「新人向け訓練プログラム（職種別）」を開発するとともに、実践的な訓練を実施して、入職・定着を図る。
- 福祉分野の保育や障害者介護の人は、県内に委託可能な訓練機関が無く公的職業訓練が実施できなかったが、新しい取組として、施設で働きながら技能習得と資格取得を目指す実践的な訓練を実施し、入職・定着を図る。